

かぶしがいしゃに わ こう む てん
株式会社丹羽工務店

〒482-0002 岩倉市大市場町郷廻 234
TEL: 0587-66-0550
<https://www.niwakomuten.co.jp>



■会社概要

1948 (昭和 23) 年に創業した工務店です。当初は木造住宅が主でしたが、時代の流れの中で公共の仕事も増えてきました。

創業 50 周年時にはお客様 CB 会を設立。毎月、新商品の紹介や業界の中で話題になるような情報の提供、懇親会などのイベントを開催しています。

本社の他に、営業拠点として、岩倉店、北名古屋支店、春日井支店を構えています。



お客様と一緒に、家をつくる。

自分が住んでいる家は、誰が建てたかご存知でしょうか。

家を建てようと思った時から建てた後のメンテナンスまで、しっかりと長く付き合ってくれる工務店が岩倉市にあります。

設計、施工から維持管理まで一貫して請け負う体制づくり

個人住宅はもちろん、公共施設、工場、神社など、ご用命いただければ、積極的に取り組んでいます。何を建てるにしても、お客様と一緒に、ことを大切にしており、とにかくお客様の要望に応えたものを提案することを心がけています。

通常の工務店は、設計、施工管理など、いろいろな会社と役割分担をしながら建物を建てる会社も多いですが、弊社は設計、施工管理、維持管理まで、一貫して自社で請け負う体制を整えています。

さらに、もともと大工の棟梁がはじめた会社であり、今でも自社で大工を抱えていることも特長の一つです。建築は図面や仕様が同じでも、職人さんの技量によって最終的な仕上がりが変わります。そのため、大工さんがいることの意味はとても大きいです。

「お客様とのやり取りの中で完成型をイメージし、そのイメージを共有しながら図面にし、技術で形にする。」それぞれに関わる人が会社の中にいるので、おかしいなと思うことは解決しながら仕事が出来るのは強みだと思います。

10年後、15年後にわかる「良い仕事」をする

家は、建てた瞬間ではなく、10年、15年経った時に良し悪しがわかります。10年、15年後に良い状態を保つためには最初が肝心で、創業者理念の「良い仕事」を常に心がけています。

弊社で30年ぐらいい前に新築で建てさせていただいたお宅をリフォームすることになり、家中を点検しましたが、細部に先代の職人たちの「良い仕事」を見ることができました。また、その家の屋根を支える棟木(むなぎ)の下、「地棟(ぢむね)」と呼ばれる材に、顔を見たこともない棟梁の名前を発見した時はとても感動しました。また、「良い仕事」は、お客様への対応についても同じです。社員とお客様とのコミュニケーションが上手く交わされていればこそ、お客様から次のお客様をご紹介いただける関係ができていくのだと思います。これからも社員とともに、未来に残る「良い仕事」をしていきたいと思っています。

「建築は本当に面白いです。自分で考えたプラン、インテリアあるいは、自分が監督した建物が、形になって目の前に誕生した時の感動、自分よりも長生きするかもしれない建物をつくるワクワク感、この仕事の醍醐味です。技術は身に付けてしまえば盗まれないし、一生使えるもの。ぜひものづくりが好きな人と一緒に働きたいと思います。」株 丹羽工務店は謙虚に、地道に、大事にすべきものを守りながら、新しい事にも積極的にチャレンジされています。

形にならないものづくり

かぶしがいいしゃ
ファルコン株式会社

〒482-0026 岩倉市大地町葉広 10-701
TEL: 0587-65-5831
<https://www.falconkk.co.jp>



■ 会社概要

1984（昭和 59）年に創業した、娯楽用ソフト、業務用システム、Web コンテンツなどの企画開発会社です。

その時々ニーズの変化に合わせて、パソコン、家庭用ゲーム機、業務用機器、携帯電話、スマートフォンなど、プラットフォームを選ばず制作しています。



ゲーム機やパソコン、スマートフォンなどでゲームをしたことはありませんか。したことがない人はほとんどいないのではないのでしょうか。そのゲームソフトを制作している会社が岩倉市にあります。

ゲームソフトをつくる仕事

創業以来、パソコンや家庭用ゲーム機、ゲームセンターなどの業務用機など様々な機器向けのゲームをつくってきました。遊び方やルールを考えるとところから始まり、キャラクターなどをデザインし、シナリオや問題などをつくって、音を付け、それらがコンピュータで動くようプログラムを書くまで、ゲームをつくる仕事には様々な種類があります。それらを、時には短期間に1人で、またある時には長い時間をかけて社外の人たちまで交えた大きなチームを組んでつくっていきます。

世界中にファンをもつ

老舗パズルゲーム「倉庫番」

看板ゲームは「倉庫番」というパズルゲームです。1982年に世に送り出されて以来、世界中の愛好家に親しまれている、広く知られたゲームです。

倉庫番の愛好家たちは、単にパズルを解いてスコアを競うだけでなく、自分たちで新たな問題を考え出し、解いて評価し合うなど、倉庫番の文化を育んできました。さらには、解法について数学的に研究して発表された論文までいくつも存在します。倉庫番の名前を知らなくても、他の社の著名なゲームに組み込まれているの

で、倉庫番パズルを知らないうちに解いている可能性もあります。

現在は、創始者や愛好家の方々と協力して、他社への版權許諾や自社での製品化を行っています。自社で発売したシリーズ製品にはパソコン向けとスマホ向けがありますが、中でも、パソコン向けに発売した2製品が「ベクタープロレジ大賞」の「ゲーム・アミューズメント部門賞」を受賞しました。

ゲーム業界の変化

ゲームソフトはこれまで、ゲーム機やパソコン向けにディスクなどを販売する形で収益を上げてきました。しかし、スマホゲームが主流になる中で、基本無料で遊んでもらって有料アイテムを購入してもらったり、画面に掲載する広告料で収入を得たり、月々決まった額でサービスを提供する購読形式などに変化しています。これからも変わり続ける環境の中で、お客様に価値のあるものを提供して、収益を上げていく方法を模索していかねければと思っています。

「ゲームソフトの制作は、何もないところから価値を生み出す仕事です。実用的な価値は高くはないかも知れませんが、遊ぶ人の幸せや満足などにつながる素晴らしい仕事だと思っています。何かを作り出している時は幸せを感じます。私は好きなことを仕事にしているのでとても幸せです。」と伊藤専務は目を輝かせて語ってくれました。目には見えにくい存在かも知れませんが、現代の多くの人の息抜きのパートナーをつくり続けています。

患者さんに寄り添って装具をつくる

ゆうげんがいしゃ あさ ひ ぎ し せいさくじょ
有限会社 朝日義肢製作所

〒482-0042 岩倉市中本町東葭原 5-7
TEL：0587-66-6348

■会社概要

1984(昭和59)年に、他の義肢装具製作所で働いていた夫婦が、岩倉市本町で創業した義肢装具製作所です。

主な業務は装具製作です。装具とは、事故や病気などで腕や足、体幹の機能に障害を負ったときに、その機能障害の軽減を目的として使用する補助器具のことを言います。現在、従業員は11名、そのうち国家資格である義肢装具士の資格保持者は4名います。



けがをしたときなどに装着するコルセットやサポーターなどの装具をつくっている会社が岩倉市にあります。

時代の変化に応じた装具づくり

社会環境の変化で症状や使用する装具が変化しています。

例えば、パソコン作業が多くなっているため、背骨の変形やヘルニア等の障害が出る人が増えていたり、路面環境の変化によって膝関節の変形という症状が多くなっています。

また、膝関節に障害がある場合、従来は膝にサポーターをすることが多かったのですが、最近は足の裏に傾斜のついた足底板(そくていばん)をあてがうことによって膝を矯正することが多くなりました。

装具づくりは時間との闘い

基本的には、契約している病院で、決まった曜日・時間帯に担当者が待機し、医師によって装具が必要と診察された場合に、患部の型をとり、寸法などを測定し、製作することになります。一般的には、営業と製作の担当者は別々なことが多いですが、ここでは一人が二役を担っています。

装具は治療が目的なので早く納入することも大きな使命です。骨折箇所の装具を製作する場合、通常、型を取ってから1週間程度かかるのが普通です。しかし、ここでは約4日間で対応します。

つけたくなるコルセットづくり

コルセットの装着は治療であるにもかかわらず、「面倒だ」、「恥ずかしい」というような理由で装着しない人が多いです。そこで、装着したくなるコルセットづくりに取り組んでいます。

コルセットは型取りして採寸した情報から、3パーツの布を用意し、それを縫製して作り込みます。この際、布はベージュや白・黒といった配色のものが標準的です。しかし、患者さんの意向に応じて、チェック柄や花柄の布にしたり、黄と黒のスポーティーな布にして、たとえば見たとしても気にならないようなコルセットを作っています。

「早く治つてもらうために、どうしたらよいか」それだけを考えて工夫しています。



田畑桂子会長は「女性義肢装具士が珍しかった創業当時から40年間、やめずに続けてきてよかった」と話してくれました。患者さんが早く治ることを切に願う強く純粋な想い、そこに細やかなアイデアや心遣いが合わさり、朝日義肢製作所の患者さんに寄り添った装具づくりの精神が築かれています。

豊かな健康と医療を支える製品をつくる

かぶしがいいしゃ
オオサキメディカル株式会社
岩倉工場

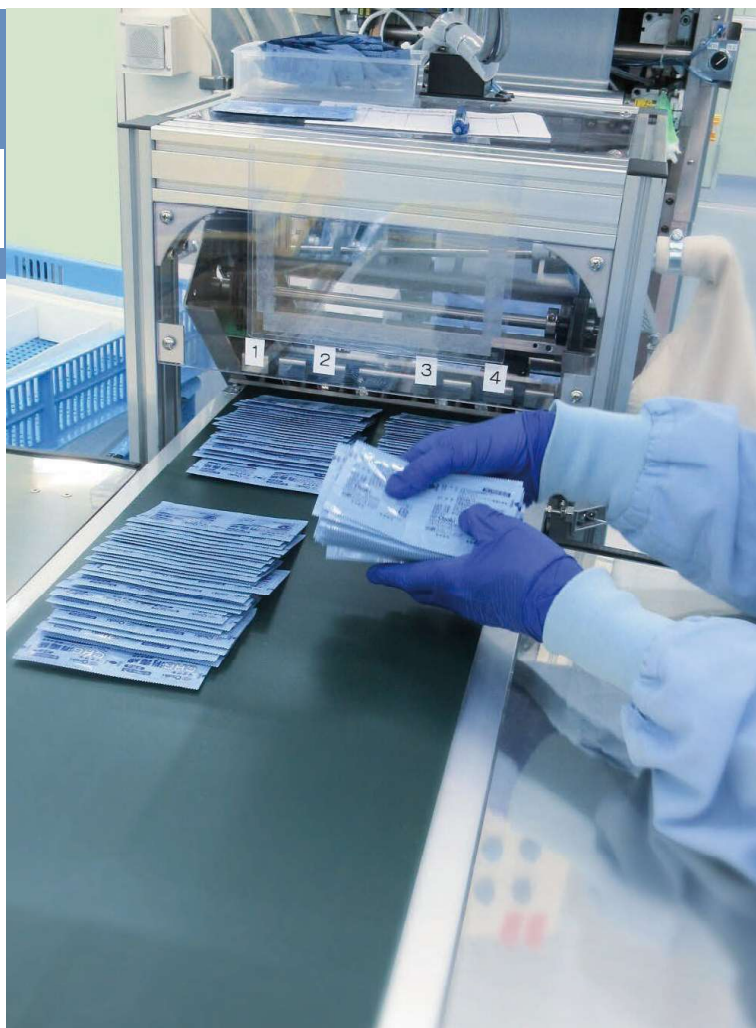
〒482-0017 岩倉市北島町白山 18
TEL: 0587-65-3800
https://www.osakimedical.co.jp



■会社概要

1936（昭和11）年に名古屋市で創業した医療材料や看護・介護製品、産科・婦人科製品の製造販売会社です。岩倉市には2008（平成20）年に工場を建設し事業を開始しました。主に病院で使われる清浄綿や手術室の中で使う医療品を生産しています。

「心かよもの創りでより良い医療と介護を考えます」という理念のもと、豊かな健康生活を実現するものづくりを進めています。



「医療に関わる仕事」というとすぐに医者や看護師などをすぐにイメージしますが、「ものづくり」という形での医療への関わり方もあります。

出産から介護まで

一生に関わる医療製品を製造

岩倉工場では、人が産まれる前から産んだ後、そして人生を終えるまでの一生を通じて、医療現場で使用するものを中心に生産しています。特に、医療用の脱脂綿に消毒液をしみこませて滅菌した「清浄綿」の製造に関しては国内シェア約60%を占めています。

また、婦人科系の商品も多く、赤ちゃんを産むときに分娩室で使われる医療材料、産んだ後のケア用品、ベビー用品などを生産しています。2008（平成20）年にはママと赤ちゃんに贈るファーストブランドサイト「dacco」を立ち上げ、助産師、ママ、女性の声を大切にした商品づくりを進めています。さらに、2014（平成26）年に介護用品ブランド「プラスハート」を立ち上げ介護施設で使われる用品の販売をはじめました。

医療機関にあわせた商品づくり

注文の多くは医療機関からです。しかし、「分娩時の医療キット」と言っても、ガーゼのサイズ・折り方・包装・小袋への挿入方向、商品キットとしての箱への挿入順序、向きなどの希望は医療機関によって異なります。そのため、医療機関

のオーダーに応じて商品番号をつけて多品種少量で生産しています。ここでは多くの工程は人手による作業が中心で、手順書や指図書などを整備し、誰でも間違いなく作業できる仕組みを取り入れています。

ものづくりは人づくり

オオサキメディカルは工場長の意向に応じて工場ごとに独自の取組を行える社風があります。岩倉工場では工場長の「高度な品質を製造工程で作り込んで行くためには、従業員一人ひとりの高い品質意識・一定の技能レベルと労働意欲が必要」という考えのもと、パートを含めた全従業員に対する面談を年に2回実施しています。長いときは3時間にも及び、一巡するのに2カ月はかかりますが、職場の雰囲気が変わることによって、高品質の製品を作り上げ、生産目標も達成しています。

「会社に行くのが楽しくなるような職場、家族に自慢したくなる会社を目指しています」という工場長。

オオサキメディカル（株）岩倉工場は、一人ひとりの人生に寄り添ったより良い製品をつくるため、社員一人ひとりの人生に寄り添った職場づくりを進めています。



一つ一つオリジナルのギターをつくる

ゆうげんがいしゃ

有限会社 ギターワークス

〒482-0032 岩倉市井上町流 86

TEL: 0587-86-0583

■会社概要

(有) ギターワークスは、ギター製作やギターの修理を行っています。廣田和久さんは、専門学校卒業後、10年間ほど他社から発注を請け仕事をしていました。

しかし、一人ひとりの好みに合わせたギター作りがしたいと思い1992(平成4)年に創業しました。(有) ギターワークス独自のブランドも持っています。



「ルシアー(Luthier)」という言葉聞いたことはありませんか。ルシアーとは弦楽器製作家を意味し、大手楽器メーカーに属していないギターやバイオリンの個人製作家のことを言います。岩倉市井上町流(ながれ)にはルシアーがいます。

月に約百本のギターを修理

昨今は1人でギター製作や修理を営む工房が多いですが、ここは従業員が5人。東京から移住して働いている人もいます。仕事内容は、ギターの修理が90%、フルカスタムオーダーは10%ぐらいで、扱っているギターの種類はアコースティックからエレキやベースギターと幅広いです。修理は、有名楽器メーカーから依頼を受けており、その会社の西日本で受けたギターの修理を全てここでこなしています。月に百本ぐらいです。また、下取りした中古品を商品として販売するために修復する場合があります。

フルカスタムオーダーは製作期間約3ヶ月

カスタムチューンと言われる、一人ひとりの好みに合わせたギター作りやアレンジを依頼されることもあります。また、フルカスタムオーダー品の製作期間は約3ヶ月で、材料費などを含めると1本あたり数十万円ぐらいの価格となります。世の中には、ギターにプレーヤーの名前を冠したシグネチャーモデルという

ものが販売されていますが、製作者またはチューナーの名前を冠したモデルもあります。ここでチューンナップしたギターに「廣田(HIROTA)」の名前を刻(こく)して納入した例もあります。

岩倉市の地名がついた、エレキギターブランドがある

工房がある地名「流」に由来して「NAGARE」という名前のエレキギターのブランドを持っています。その中に「37フレットのギター」があります。フレットというのは指で弦を押さえて音階を決めるギターネックにある部品のことです。通常は22か24フレットですが、NAGAREでは32や37フレットのギターも製作しています。12フレットで1オクターブ分の音域をカバーするため、37フレットの場合は3オクターブ分に相当しています。その他にもネック部分にフレットがない、バイオリンのようなフレットレスというタイプも製作できます。

プレーヤーの中には幅広い音域も表現したい人やフレットレスの音色にこだわりのある人がいて、ここはそうした願いに応えています。

有名楽器メーカーが修理を依頼していることは、絶大な信用があるからだと思います。「二人ひとりの好みに合わせたギターづくりがしたい」と創業した廣田さん。まだまだ夢は続きます。



洋服づくりをコーディネートする

にわ かぶしきがいしゃ
丹羽ベビー 株式会社

〒482-0033 岩倉市神野町平久田 73

TEL : 0587-66-1122

http://www.niwababy.jp



■会社概要

1962(昭和37)年に岩倉市神野町で創業した洋服の製造会社。創業当時は「丹羽メリヤス」という名前で、取り扱っている商品はベビー肌着 100%でした。法人化の際に「丹羽ベビー」と改め、今は、ベビー服・子供服・婦人服などのアウターも製造しています。

すべて国内生産、高感度・高品質の製品づくりにこだわり、「きっちり、にっこり、あつあつ」を経営理念として、日々楽しく、感謝と熱意をもちながら、誠心誠意業務に取り組んでいます。



普段着ている服がどうやって作られているか知っていますか。有名ブランドの洋服を生産している会社が岩倉市にあります。

洋服ができるまで

主な商品はベビーや子供服です。アパレル会社から委託を受けて生産するOEMが5〜6割で、残りは自社企画商品「TENTOUMUSHI(てんとう虫)」を生産し、ネットショップと百貨店・セレクトショップで販売をしています。

注文に応じてデザインを考え、パターンを作成し、裁断、縫製、仕上げ、検品を行います。

プリント・刺繍・縫製加工などは複数の国内協力工場に依頼していますが、生地、加工工程、製品のグレード等によって、協力工場の組み合わせを変えて最適な生産ラインを組み立てます。

言ってみれば、たくさんある加工所のコーディネート機能を担当しています。

パターンはCAD、裁断はCAMを導入する企業もありますが、縫製業は手作業が多く、最終的なアイロンでの仕上げや値札付け・検品に至るまでのほとんどの工程を人の手で丁寧に行っています。

細やかな対応、質の高い製品づくり

国内のデパートや専門店向けの商品では、見栄えだけでなく着心地やフィット感など、より上質なものが求められます。それに応えるため、ここは、小規模の製

造会社では珍しく、デザイナーとパターンナーを配置しています。パターンとは洋服の型紙のこと、型紙をつくる人をパターンナーと言います。

アパレル側からパターンが送られてくることもあります。ここにはパターンナーがいるため、デザイン画を送るだけで、パターンと洋服を作ってもらえるのです。また、送られてきたデザインやパターンがおかしい場合、修正を提案することができます。

生産拠点の海外移転が進んでいますが、デザイン、パターンへの対応、生地の違いに対するミシンの調整やアタッチメントの工夫など、日本の企業の細やかな気遣いは素晴らしい、商品の完成度は全く違います。

海外からの観光客なども日本製の製品を求めており、再び、国内生産の需要は高まっています。



「小学校3年生の時に、父親が商品のサンプルをいくつか持ってきて、どれがいいと聞かれたことがあります。販売した結果、自分の選んだものが一番売れたということを知っていて、とてもうれしかったのを今も覚えています。それがこの道に進むキッカケだったのかもしれない」と三輪専務は語ります。

子どもの頃のキッカケを一步步つ実現してきました。

幟の文化と物語を守り、幟を染める

なかしま やのぼりてん
中島屋幟店

〒482-0042 岩倉市中本町中市場 26-1
TEL : 0587-37-0444

■会社概要

天正年間（1573～1592 年）に創業した
450 年以上の歴史がある幟（のぼり）店。
現在の代表 松浦 正幸さんは 14 代目です。

主な製品は神社幟旗、拝殿幕、社旗、店
舗向け旗のれん等で、遠くは福岡県や北
海道からも注文を受けています。



14 代目松浦正幸

まず生地を下絵を描きます。そして、
色を付ける前に色と色の間の輪郭部分に
「カップ」という治具を使って糊を塗り、
縁取りをして、一気にハケで色を付けて
いきます。
染料が乾いた後、糊を取る作業になり
ます。糊を柔らかくするために幟を川の
水に浸します。この時、幟が水に流され
ないように杭を川底に打ち込み、紐で結
びます。夏場で 2 時間、冬場では 3 時間
ぐらいです。大寒の時は気温零下の中、
早朝から幟を川に入れます。そして、糊
がふやけた頃、包丁で糊を削り落とすの
です。この工程がのんぼり洗いです。
その後、きれいに洗い、乾かして、鯉
の形に合わせて切り取り、最後に切りと
った部分を鯉の背びれや胸びれとして縫
製し、鯉のぼりが出来上がります。

鯉のぼりづくり



岩倉市の代名詞である五条川の「のんぼ
り洗い」。中島屋幟店は、例年、大寒の時期
と桜まつりの時に実演しています。
では、のんぼり洗いは何をしているのか、
その舞台裏をご存知でしょうか。

色をつくる
いつまでも鮮やかさを保つ青

顔料を使っていますが、赤は一度で、中間色
は染料を調合し色合いを出します。色目本通
り再現するのは難しいですが、お客様の希望に
沿うように色合いを調合します。色によって
性質が違い、青はいつまでも鮮やかさを保ちま
す。五条川で泳いでいる時、天日に当たって
いる時、幟の色は一段と鮮やかに見えます。
祖父や父から教わった手染めの技を磨き四
百五十年以上続く伝統を受け継ぎ、後世に伝
えていきたいです。



15 代目松浦弘明



近年は機械印刷を取り入れ【のぼり】神社幟・
相撲幟・鯉のぼり【幕】拝殿幕・懸垂幕・横幕・
紅白幕【旗】社旗・学校章旗・交通安全旗・
国旗【祭事】はてん・法被・浴衣・手ぬぐい・
たすき・腰巻など、染め物全般を取り扱ってい
るようですが、四百五十年以上続く伝統、磨き
続ける技、代々守り続けられている道具、大量
生産ではない「ほんもの」がここにあります。

子どもの成長を願い、鯉のぼりを染める

ゆうげんがいしゃ はた や なかしま や だいすけしょうてん
有限会社 旗屋中島屋代助商店

〒482-0042 岩倉市中本町中市場 31

TEL: 0587-37-0064

<https://www.somemonya.jp>



■会社概要■

嘉永時代(1850年頃)から代々 松浦代助を世襲(せしゅう)する旗屋中島屋代助商店。

小学校に飾られている校旗や国旗、よさこいなどの時に着用する半纏(はんてん)、交通安全の手旗など、幅広く取り扱っていますが、特に手染めにこだわって織(のぼり)を製作しています。

桜まつりの時には「のんびり洗い」の実演も行っています。



受け継がれてきた「染め」、「鯉のぼり」という文化を教えてください。

昔ながらの染め方を引き継ぐ

染めの方法はたくさんあります。用途や枚数などによって変えるのですが、基本となるのは鯉のぼりの染め方「印染め」です。染色関係の学校がありますが、「染め」の全般的なことは教えてくれない、印染めを教えてください。そのため、職人はここに入ってから学んでいくことになります。代表の松浦さんも染色関係の学校に行った後、24歳でここに入り、印染めのことは先代から学びました。

昔は材料の種類が限られましたが、染物は手間暇をかけた、本当に良いものがつくられていました。また、手染めはいつも同じ染め方をしても、できあがり微妙に違うため、世界に一つしかないという魅力と特別感があります。

鯉のぼりに込められた思い

鯉のぼりはその家に男の子が生まれたしるしです。浮世絵に見られる鯉のぼりは黒色のみの一匹で、また、黒や赤はあくまで「まごい・ひごい」を表すものでお父さんやお母さんを示しているわけではありませんでした。時代の流れの中で捉え方が変わってきました。矢車やふきなごしも後からついたものだそうです。

松浦さんは「庭に建てるだけが鯉のぼりではない。小さくても、玄関先に少し飾るだけでも良いので、親が子の健やかな成長を願うという鯉のぼり文化を絶やし

たくない」と、技だけではなく文化や風習も守り続けています。

鯉のぼりは、要望に応じて子どもの名前や家紋を入れたり、女の子用で配色を変える場合もあるそうです。

新しい挑戦

Tシャツや小物雑貨の製作

ここでは、のぼりのハギレなどを利用してポーチやトートバッグ、シュシュなどの小物づくりにも取り組んでいます。材料となるハギレは二つとして同じものがないため、小物はそれぞれオンリーワンの商品となります。

また、洋服製造会社と岩倉市のTシャツを製作しています。岩倉の産業振興に少しでも役に立てばと考えています。

「白い生地が染め上がって鯉のぼりになっていくのは小学校の図画工作のようで好きです。小さい頃から仕事場が遊び場でした。親から継げと言われたことはありません。いろいろ考えた時期もありましたが、最後はここだろうと思っていました」と語る松浦さん。

店の歴史に向き合い、日本の良き伝統をかたくなに守りながら、新しいことにも挑戦し続けています。



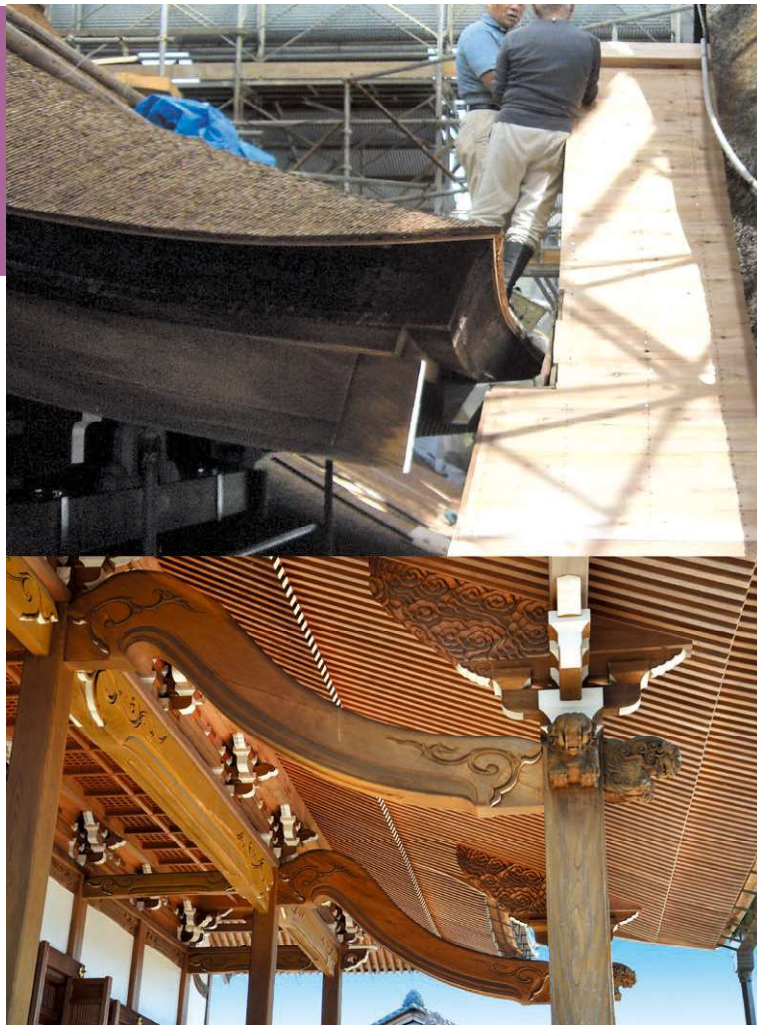
実用的で芸術的な社寺仏閣の世界を守る

ゆうげんがいしゃ ほり お しゃ じ じゅうけん
有限会社 堀尾社寺住建

〒482-0034 岩倉市石仏町京伝杖 3
TEL: 090-1272-2153

■会社概要■

(有)堀尾社寺住建は1946(昭和21)年に現棟梁の実父が創業した宮大工の会社です。ただし現棟梁の堀尾さんは宮大工としては祖父、父と続く3代目になります。岩倉市内では五条川小学校の西側にある覚順寺や稲荷町にある浄正寺の建設、鈴井町の円通寺の修繕などに関わっています。また、神奈川県や山形県など全国各地の神社やお寺などの建設・修繕を行っています。



社寺仏閣の建築や補修に携わる大工を「宮大工(みやだいこう)」と呼びます。現在、日本に実在する宮大工の人数は百人以下とも言われていますが、宮大工の会社が岩倉市にあります。

宮大工という仕事

神社の場合、神明社、春日社、出雲大社、天満宮など様式によって社(やしろ)の形が異なりますし、寺の場合は宗派によって様式が異なりますが、宮大工はいろいろな様式に対応します。

仕事は、工場設計・材料の加工などを行い、現場で組み立てるといのが基本的な流れです。設計は間取りから始めます。床に敷いたベニア板に平面図、立面図、矩計図(かなばかりず)、部分詳細図などを原寸図で描いて「型」を表します。この作業が最も大変で、これらの図面ができれば半分はできたようなものです。

次に、使用する木材に尺図絵(しゃくずえ)を描き、これに基づいて材料を加工し、これらの部材を現場で組み立てていきます。昔は柱が多めで、引違い戸がその間にはめられる構造が多かったのですが、近年は耐震強度を上げるために壁が増える傾向にあります。変わらない様式の中で、細部には時代に応じた対応も求められています。

岩倉市覚順寺、名古屋城本丸御殿

五条川小学校の近くにある覚順寺は平

成7年頃から5年がかりで建てたもので100人ぐらゐの職人が携わりました。それを取り仕切ったのが堀尾棟梁です。この覚順寺には、社寺建築に用いられる側柱と本柱をつなぐ海老のような形に湾曲した海老虹梁(えびこうりょう)という梁(はり)の種類があります。岩倉ゆかりの人が眺めると鯉のぼりのようにも見えます。それはもう芸術品なので、ぜひ見に行ってみてください。

他にも、名古屋城本丸御殿の第2期復元工事に携わりました。また、山形大学の工学部の校舎の一つに、国の重要文化財に指定されているルネッサンス様式の見事な校舎があり、その修復にも携わりました。

多種多様な道具を使いわけ

宮大工は使う道具も特徴的です。現在は、電動工具と手道具を作業に応じて使っていますが、手道具は特注のものが多くです。金太郎が持っている「まさかり」や「ちょうな」もそうした類に入ります。ここにある「カンナ」は約50丁、「のみ」は約100本、全て違う種類です。

「原寸図を引いている時が一番楽しい」と語る堀尾棟梁。実父に師事できたのは7、8年の短い間。「もつと」一緒に仕事ができれば違っていたかも知れない。なかなか親父を超えることはできない。でも乗り越えたいと思っています」

堀尾棟梁の挑戦は続きます。



岩倉市初の名古屋友禅 伝統工芸士

まるすえ び ふく そめ こう ぼう
丸末呉服・染工房さくら

〒482-0026 岩倉市大地町郷前 1

TEL: 0587-37-3031

<https://somekoubousakura.blog.jp>



■会社概要

大地町にある呉服屋「丸末呉服」の娘櫻井めぐみさんが呉服屋内に構える名古屋友禅の工房です。丸末呉服は60年前にめぐみさんのお父様が創業しました。もともとは店舗を持たずお客様のお宅を訪問して呉服を販売していましたが、大地町に店舗を構えました。染工房さくらは20年ほど前から、同じビルの二階にありましたが、現在は、三階の広い場所に移転しました。全国でも友禅師を抱える呉服屋さんは大変珍しいそうです。



友禅は、日本の代表的な染色方法の一つです。京友禅、加賀友禅、東京友禅等の種類がありますが、その一つ、名古屋友禅の技術を持つ友禅師が岩倉市にいます。

反物1枚3か月 一人で染め上げる名古屋友禅

友禅染について、白生地に下絵を描き、模様の輪郭を糸のように細い糊で縁取り、筆や刷毛で色をつける「糸目友禅技法」という方法自体は産地によってあまり変わりません。しかし、京友禅、加賀友禅は完全分業制で、下絵を描く人、糸目糊を引く人、柄に色を挿す人など各工程の職人さんがいるのに対して、名古屋友禅はデザインから染めまで一人でほとんどの工程を行います。私は一人で染めているので、総柄の着物を1枚染めるのに約3か月かかります。大変ですが、思い描いた着物を全工程を通して表現できることはすごく恵まれていると思います。

G1レースの優勝馬にかける レイを名古屋友禅染で作成

名古屋友禅黒紋付共同組合連合会という染めの組合があります。その組合事業の一環で、中京競馬場開設60周年を記念して、G1レースの優勝馬にかけるレイを、地場産業の名古屋友禅染でつくることになりました。コンペ形式で、2013年から10年の間に約10枚以上のレイを染めさせていただきました。これからも一枚でも多くのレイを手掛けられるよう頑張りたいと思います。

商売人の父との二人三脚

父は呉服屋、商売人です。若くして独立した時に、高級路線に切り替えました。商品をととても大切にすることで、着物に流れる物語やお客様に合わせることをとても大切にします。例えば、お客様が私の作品と同じ構図の着物が欲しいとおっしゃっても、「お客様の体格や雰囲気によって、その方に合った図案に描き変えなさい。お客様に合わせてよりよくできる能力が無ければだめだ。」と言いつつ聞かされてきました。職人は、ときに自分の型にハマってしまうところがありますが、父のようにお客様と直に接しているプロの意見に耳を傾けることによって冷静になれるます。

昔と違って、着物は、枚数をたくさん持つ方が少なくなりました。お客様には、良いものを長くいつ着ても感動してもらえようように心がけています。これからも、商売人の父の考えや感性を持ったまま、職人でもありたいし、作家でもありたいと、欲張りなことを考えています。

「着物は手入れが大変。というイメージがありますが、そんなことはありません。着物の魅力とあわせて、着物の扱い方をもうと知ってもらい、身近なものにしていきたいと思っています。そして着物のことで何か困ったら丸末呉服。と言われるような呉服屋・友禅師になりたいと思っています。」そう語るめぐみさんは、岩倉総合高校での講演や、生涯学習講座の講師も積極的に受けておられます。その眼差しは熱く、エネルギーに満ち溢れています。

安全・安心な液卵をつくる

かぶしきがいしゃ
キユーピータマゴ株式会社
八劔工場

〒482-0031 岩倉市八劔町江迎 32-1
TEL: 0587-38-1510
<https://www.kewpie-egg.co.jp>



■会社概要■

キユーピータマゴ(株)は1977(昭和52)年にキユーピー(株)より独立した業務用タマゴ製品の製造販売会社です。全国28カ所に工場を持っており、岩倉市にある八劔工場はその一つで1997(平成9)年に事業を開始しました。

「安全」と「安心」をモットーとし、その実現のために製品の安全を確保する衛生管理手法のHACCPを導入したり、採卵された養鶏所から客先に納品されるまでの物流を把握するトレーサビリティ環境を確立するなど、様々な品質保証活動に取り組んでいます。

ちなみに、日本の業界全体としての鶏卵取扱量は年間で約250万トンであり、その10%をキユーピーグループが取り扱っています。これは国内No.1の量です。



ファミレスやファストフード、コンビニなどにある菓子パン、クッキー、デザートなど、タマゴを使った製品はまわりに溢れています。その材料をつくっている工場が岩倉市にあります。

中部7県、 20軒の養鶏農場から入荷

ここで生産した「液卵」は卵を使用した製品の材料として使われています。

液卵とは、割卵(かつらん)卵を割ることとして中身だけにしたもので、八劔工場では割卵してから、殺菌処理をしないまま袋詰めしたもの、割卵後に溶き卵状態にし加熱殺菌処理をして出荷するものの2種類を製造しています。

割卵機を使って1分あたり600個の卵を処理しており、1日の卵の取扱量は約15トン、卵の数にすると約30万個にもなります。一つの養鶏農場から多くを仕入れられないため、中部7県を中心とした約20軒もの養鶏農場から入荷しています。

みなさんも食べています、きっと

製品は、主にお菓子やパンを製造する中部地区の業者に、加工用の原材料として納品しています。ここで生産される液卵加工製品は食品の原材料の一つであり、消費者がその加工業者を意識することはないと思います。しかし、コンビニやスーパーなどで見かけるあのパンやお菓子、デザートなど、あちらこちらで利用され

ており、多くの人が一度は口にしたことがあると思います。

日々、品質、味の向上を

よりおいしい製品を安全・安心に食べてもらうために、「あたりまえのことを、あたりまえに行なうことが大切」だと考え、日々、鮮度管理、食品安全へのためまめ取組と、食感と品質の向上に取り組んでいます。品質管理については、統合型食品安全マネージメントシステムFSS C22000認証を2015(平成27)年度に全工場が取得しました。

「自分達が工場で生産したものが様々な形になって食されたり使われたりしているのとてもやりがいを感じます。キユーピータマゴが岩倉市にあることは知られていないと思いますが、より多くの人に知ってもらいたいと思います」と工場責任者は語ります。

創業50周年の節目の年に向けて、キユーピータマゴは岩倉市での知名度も向上させていきます。



料理に彩りを添えるゆで卵をつくる

さんしゅう かぶしきがいしゃ
三州エッグ株式会社
岩倉工場

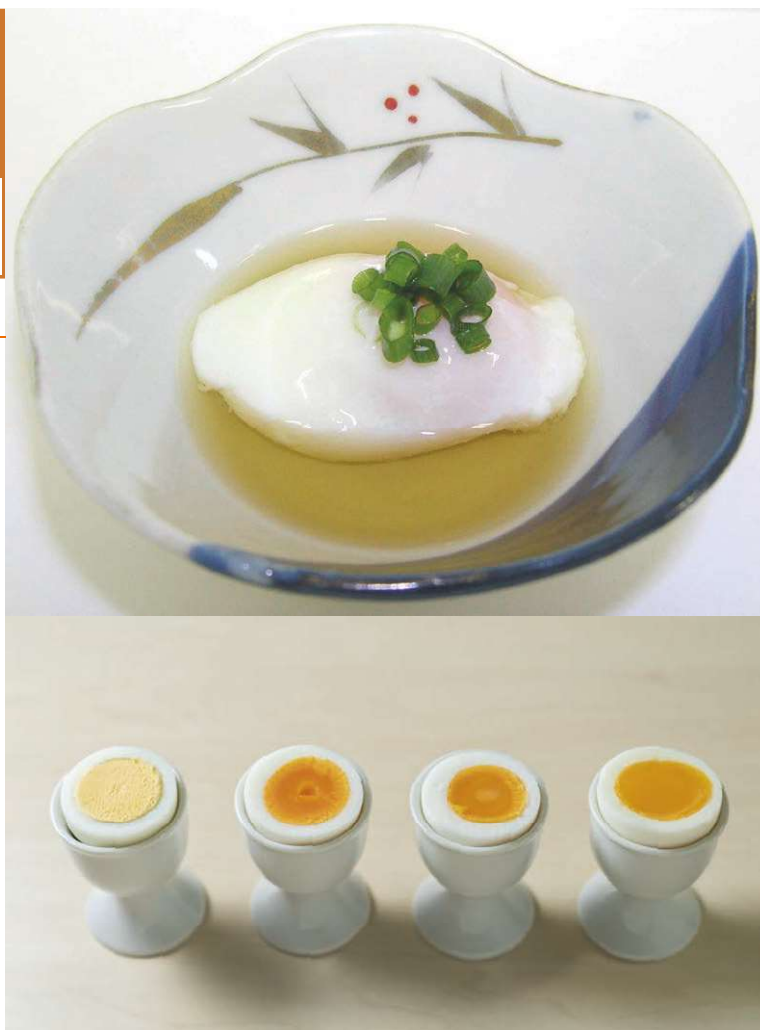
〒482-0031 岩倉市八劔町大門出先 28
TEL : 0587-66-2111
<http://www.sansyu-egg.co.jp>



■会社概要

三州エッグ(株)は1964(昭和39)年に設立した三州食品株式会社のグループ企業です。岩倉市では1970(昭和45)年から鶏卵の選別包装施設(GPセンター)と割卵工場を新設し、事業を開始しました。その後、市場のニーズに応じて工場の用途変換や整備を進めながら、2002(平成14)年には第三工場を増設しました。

三州食品グループは、育雛・養鶏から液卵加工、鶏卵加工、トータルな仕組みを基本とした事業に取り組んでおり、主力事業は液卵加工で、ゆで卵事業がそれに続きます。岩倉工場は主にコンビニや外食などで使用されるゆで卵や温泉卵などを生産しています。



コンビニ、外食産業などで使用されるゆで卵や温泉卵などを生産している三州エッグ株式会社の工場が岩倉市にあります。

毎日約40万個の卵を加工

岩倉工場は、かつて割卵(かつらん)事業を行っていましたが、今は主にゆで卵や温泉卵を製造しています。卵使用量は一日あたり40万個、重さにして約20トン、コンビニや外食産業での需要があり、年間通してのニーズがあります。

ゆで卵の秘密

ゆで卵は新鮮な卵ほど皮剥けがよいといわれます。原因は卵内の炭酸ガスです。そのため、あらかじめ炭酸ガスを抜く作業をします。また、見た目への配慮として、半切りにして使うものは卵黄が中央になるように、工夫して加工しています。

また、関東地方では卵黄が赤みを帯びているものが好まれるなど、地域ごとの特徴もあります。温泉卵はカゴに卵を入れて加熱しますが、卵のサイズのバラツキやカゴ内の温度分布も異なるため、さらに工夫が必要となります。

市場の変化や

ニーズに素早く対応

昭和40年代の外食産業の発展に伴い、鶏卵の加工事業に進出し、割卵機の導入

や、専用ラインの設置を通じて、たまごサラダやゆで卵などの加工食品の需要に応えてきた歴史があります。市場の変化に迅速に対応することで、コンビニエンスストアやラーメン、牛丼チェーンなどの大手との取引を拡大してきました。

「FARM to TABLE」、農場から食卓までを言葉に、安全・安心・おいしさを提供している三州食品グループが日本の食文化に貢献しています。



ゆで卵 (プレーン)

ゆで卵 (醤油)

名古屋コーチンの伝統と歴史を守る

せき ど ようけいじん こう ふ か じょう
関戸養鶏人工孵化場

〒482-0036 岩倉市西市町無量寺 13

TEL : 0587-37-0369

<https://sekido-hatchery.jp>



■会社概要

関戸養鶏人工孵化場は、明治末期に、現在の代表関戸久司さんの大叔父さんが養鶏・ふ化を始めたのがきっかけです。1965（昭和 40）年頃からは日本の 3 大地鶏の一つ「名古屋コーチン」の養鶏を始めました。愛知県内には名古屋コーチンの民間ふ化場が 2 ヶ所ありますが、そのうちの 1 ヶ所です。無量寺に鶏舎・ふ化場があり、現在は家族 2 人で営んでいます。

愛知県には、我が国の養鶏業の発展に多大な貢献をした高橋広治氏の功績を記念し、養鶏分野で功績のあった方を表彰



する「高橋養鶏賞」があり、父の関戸恒久さんが 2001（平成 13）年に受賞しています。



名古屋コーチンは、江戸時代に愛知県で作出され、1905（明治38）年に日本家禽協会によって認定された鶏の品種です。関戸養鶏人工孵化場では名古屋コーチンのふ化、養鶏、ヒヨコ販売、採卵、鶏肉販売などを行っています。

ふ卵中は自動で転卵

卵は、愛知県の畜産総合センター種鶏場から入荷します。その卵をふ化させ、食肉用や採卵用に飼育しています。

卵は概ね3週間で雛に孵ります。ふ化の作業は全て久司さんが担当しており、自動転卵機能付きの孵卵器を用いて行っています。ふ化までの3週間の間、ふ卵舎内の消毒や温度・湿度の管理などを適切に管理することにより品質を保っています。以前は、1日に4回手動で転卵を行っていましたが、現在は最新機器の導入により自動転卵にてふ化業務を行っています。

飼育作業については、関戸綾子さん（妻）が担当しており、雄は少し凶暴なところがありますが、綾子さんの顔は覚えていて、鶏舎内に入っていくと鶏の方から近寄ってきます。

ヒヨコは年間約2500羽出荷

ヒヨコとしての出荷数は年間約2500羽。関戸養鶏人工孵化場では少数での取引が可能であることから、全国各地から注文があります。ただし、近年は輸送を引き受けてくれる配送業者がな

くなり、困っています。生きたまま輸送するとトラブルが起きる場合があるからです。

100年フードに認定

関戸久司さんが組合長を務める岩倉市名古屋コーチン振興組合加盟店の1店で提供されている「ひきずり（名古屋コーチンのすき焼き）」が、文化庁の令和3年度食文化機運醸成事業である100年フードに認定されました。

岩倉市周辺では、古くから名古屋コーチンが盛んに飼育されていたことから、名古屋コーチンでひきずりを作ることが多いです。特に名古屋コーチンの雌の肉は柔らかく脂肪も多めなのでひきずりに向いています。

岩倉市内のイベントに出店

岩倉市名古屋コーチン振興組合の活動の一環として、岩倉市内のイベントに出店しています。イベントでは、名古屋コーチン鉄板焼きを提供しています。素材そのままの美味しさを生かして塩のみで味付けしているので、しっかりとした歯ごたえや濃厚な地鶏の旨味を楽しむことができます。



名古屋コーチンのふ化や飼育のみならず、振興組合の活動を通じて、名古屋コーチンの食文化の継承にも尽力しています。

かぶしがいいしゃさんようどう
株式会社三洋堂

〒482-0005 岩倉市下本町天神塚 155
TEL: 0587-66-2499
<https://sanyodo.ne.jp>



■会社概要

1985（昭和60）年に設立。縁日での焼き栗販売などの事業を行っていた時期を経て、20年前からは低価格のおもちゃ製造をメインとしています。本社は岩倉市、支社は東京にあります。物流センターは小牧市内に2か所あります。

2024（令和6）年4月現在の従業員数は47名。人材募集をする度に定員をはるかに上回る応募があり、20～30代の若い社員が多く在籍しています。完全週休2日制を採用し、基本的に残業はせず、勤務時間内に集中する働き方を推奨しています。



低価格でも妥協しないおもちゃづくり

お祭りの景品としてもらったスーパーボールや小さな人形を心躍らせながら家に持ち帰った。幼い頃のそんな記憶があなたにもあるのではないだろうか。

低価格で手に取りやすいおもちゃを製造する会社が岩倉市にあります。

低価格・多品種が強み

低単価の商品を主力としているおもちゃの製造メーカーです。主力商品は「ぶかぶか」というアヒルやお寿司などの形をした水に浮かぶおもちゃで、業界内で高いシェアを誇っています。常時200～300種類を取り揃え、縁日のすくい人形屋台、ゲームセンターに置かれているミニクレーンなどで景品として使われています。

他にもスーパーボール、光るボトル、ボール、文具セットなど約700種類と豊富な商品を扱っていることが強みです。

品質にこだわるものづくり

新しいオリジナル商品を作る際には、まず営業がお客様のニーズのヒアリングや市場調査をします。商品の方向性が定まったら、社内のデザイナーがパソコンでイメージを作成します。その後、中国の工場にそのデータを渡します。

試作品を細かくチェックし、不備があれば修正を依頼。「最終的に商品を手にとったお客様が満足するかどうか」を判断基準に、納得するまで何度も確認と修正を繰り返します。単価の安い商品だからといって妥協することはありません。

らといって妥協することは一切ありません。問題がなくなつた段階で発注をかけ、量産に入ります。

カプセルトイ市場へ新たな挑戦

低価格おもちゃの卸売り部門、ネットショップ部門に加えて、2023（令和5）年にカプセルトイ部門を立ち上げました。カプセルトイが大好きで、いつか販売をやりたいと言いつつ続けていた社員がいたこと、近年市場規模が急拡大していることが立ち上げのきっかけになりました。

市場に出ている商品はほとんどが1個300円以上の価格帯で、競争が激化しています。弊社ではこれまでのノウハウを活かして、100～200円の商品を生産できるため、差別化を図ることができると考えました。

赤い牛を模した張り子の民芸品『赤べこ』の形をしたカプセルトイを製作したところ、1種類1万個売れたら大ヒットと言われる中、これまでに7～8万個が売れ、現在も予約注文が続いています。



在も予約注文が続いています。

「おもちゃが好きだからこそ、商品にこだわり、ちゃんとした形でお客様に届けられることが喜びです」とキラキラ輝く眼差しで話す小林取締役。（株）三洋堂は子どものような好奇心とビジネスセンスを合わせ持ちながら、手に取った人が思わず笑顔になるおもちゃを提供し続けています。

かぶしきがいしゃ

株式会社ヨーヨーカンパニー

〒482-0002 岩倉市大市場町順喜 52

TEL: 0587-81-3924

http://www.yoyocompany.jp



■会社概要

2010（平成22）年に創業。ヨーヨーを始め、関連グッズ、アパレルなどの企画・販売などを行っています。

三居（みい）社長はヨーヨープレイヤーであり、2000年の世界チャンピオンです。プレイヤーとしてだけでなく、運営面にも参画したいとアメリカに留学しました。その縁もあり、本社は岩倉市にあります。米国にも出荷施設があります。東京渋谷にも出店しています。



ヨーヨーで世界をつなぐ、世界を広げる

岩倉市にヨーヨーの世界チャンピオンのタイトルホルダーがいることを知っていますか。今回は三居社長に選手としての話ではなく、商品としてのヨーヨーのこと、これからのビジョンのことなど、いろいろなお話を伺いました。

岩倉・国内でオリジナルのヨーヨーをつくりたい

ヨーヨーは、小さいものから大きいもの、プラスチックのものから金属製のものまで、サイズ、素材によってたくさんの種類があります。金額も、千円程度のものから5万円ぐらいのものまで様々です。うちでは世界各国のおよそ500種類のヨーヨーを扱っています。

現在、そのほとんどが中国で生産されています。ヨーヨーは比較的安価なものである割には精度が求められますし、経験が必要な作業もあります。例えば「マツチング」という、ヨーヨーの本体部分のパーツを神経衰弱のように一つずつ組み合わせながら、ブレない組み合わせを確認する作業もその一つです。また、競技用等の金属製の物は、アルミ合金の中でも硬い素材を使うことが多いため、素材自体のコストが高く、切削の時間もかかることから、国内で製造するには失敗のリスクが高いのです。

今では、岩倉市内の射出成型が可能でプラスチックメーカーと連携して、子どもたちにも手が届きやすく使いや

すいヨーヨーをつくっています。
ヨーヨー業界全体のために

「ヨーヨーを楽しむ人を増やしたい」、「ヨーヨーで頑張っている子たちに、もっと活躍の場を増やしてあげたい」という想いを強く持っており、2010年に一般社団法人日本ヨーヨー連盟を立ち上げ、代表理事を務めています。

連盟の活動として、テレビ番組にヨーヨーのパフォーマーとして出演したり、若者に人気のアパレルブランドと連携してコラボTシャツを制作したり、この店のためだけでなく、業界の発展につながればとの思いでいろいろな活動をしています。

自分の夢を実現するために、無いもの、足りないものは一つ一つ作ってきました。大変なこともたくさんありましたが、自分達で作ってきたという喜びを感じています。

「仕事は好きであることが重要。好きだから根気よく続けられるし、探求心も沸く。ただ最終的には好きだけではダメでスキルも必要。でも、例えそのスキルがなくても、すぐに諦めるのではなく喰らいついていく強さがほしい。好きなことを貫いてほしい。」と三居さんは話してくれました。

三居さん自身もアメリカの大学に留学した当初、英語は苦手だったそうですが、いまや国際ヨーヨー連盟の運営や審査員会議の進行を務めているとのこと。会社の社長という立場だけではなく、業界の代表として三居さんの挑戦はまだ続きます。

「運ぶ」を軸に新たな挑戦を続ける

かぶしがいいしやしょうえいつうしょう
株式会社翔栄通商

〒482-0017 岩倉市北島町 18
TEL: 0587-84-0817
<https://shouei-t.com>



■会社概要

トラック運転手の経験がある柴田純一社長が同業の仲間たちに声をかけ、2008（平成 20）年に設立したのが（株）翔栄通商です。

バンゲート、平ボディ車、冷凍バン車など様々な種類のトラックを保有し、全国にある営業所を拠点に輸送を行っています。2023（令和 5）年には新しい営業倉庫「翔栄通商ロジスティクスセンター」を開設し倉庫業にも注力しています。



インターネットで注文した商品が自宅に届く。スーパーマーケットに商品が並び、日常の風景の舞台裏には必ず「物を運ぶ人」がいます。その物流を担っている会社が岩倉市にあります。

効率を考え、専門性高く運ぶ

物流業界では、たとえば愛知県から東京都までトラックで荷物を運び、戻ってくる際に何も載せていなければ商売として成り立ちません。お客様からの注文に対して、トラックをいかに効率よく稼働させるかが重要ですよ。

北海道から九州まで全国にある営業所が輸送の依頼を受けると、その情報は本社に集約されます。オンラインの配車システムで、自社保有する140台のトラックの稼働状況を管理しており、空車に輸送業務を振り分けます。どのトラックが運ぶかは、乗務員の年齢や貨物の種類も考慮して決めています。

家電・食品・衣類・鋼材など多種多様なものを運び、貨物の内容によって載せるトラックの種類を使い分けています。例えば窓枠を運ぶためには、平ボディという荷台に屋根がないトラックに積みます。配送先の現場でクレーンを使って高所に吊り上げる必要があるからです。一般貨物自動車運送事業のライセンスを受けているからには、ただ単に運ぶだけでは十分とは言えません。「お客様の代わりに運んでいる」という意識を常に持ち、貨物の特性について深く理解した

上で、「適切な方法で運び、お預かりした状態のままお届けする」ことを実践しています。

新たなサービスを開拓

衣類などアパレル商品の流れを管理するアパレル物流を得意としています。コンテナからの荷卸し、入庫時の検品、サイズや種類別に分けた保管、オーダーが入った商品のピックアップ、しわ伸ばしなどの出荷作業、輸送手配まで全ての工程を、お客様からの信頼を得て行っています。

物流業界は燃料費高騰や人材不足などの課題に直面しています。しかし、そこで立ち止まることなく社会のニーズを捉え、アパレル物流など新しい分野に挑戦し、事業の幅を広げてきました。

2023（令和5）年に新設したロジスティクスセンターには倉庫や事務所に加えてレンタルオフィスも用意し、新たな顧客の利用も見込んでいます。

「現場経験のある方が社長ということもあり、社員をとて大切にしています。福利厚生や賞与にそれが反映されています。また、独立したいという気持ちがある社員は会社として積極的にサポートします。実際に、グループ会社の（株）廣



翔と（株）道翔はうちの社員が立ち上げました」と伊藤達也取締役。「挑戦を大事にする」という（株）翔栄通商の信念はここにも現れています。

岩倉市で循環型農業を実現する

グリーンアカデミー^{いわくら}岩倉

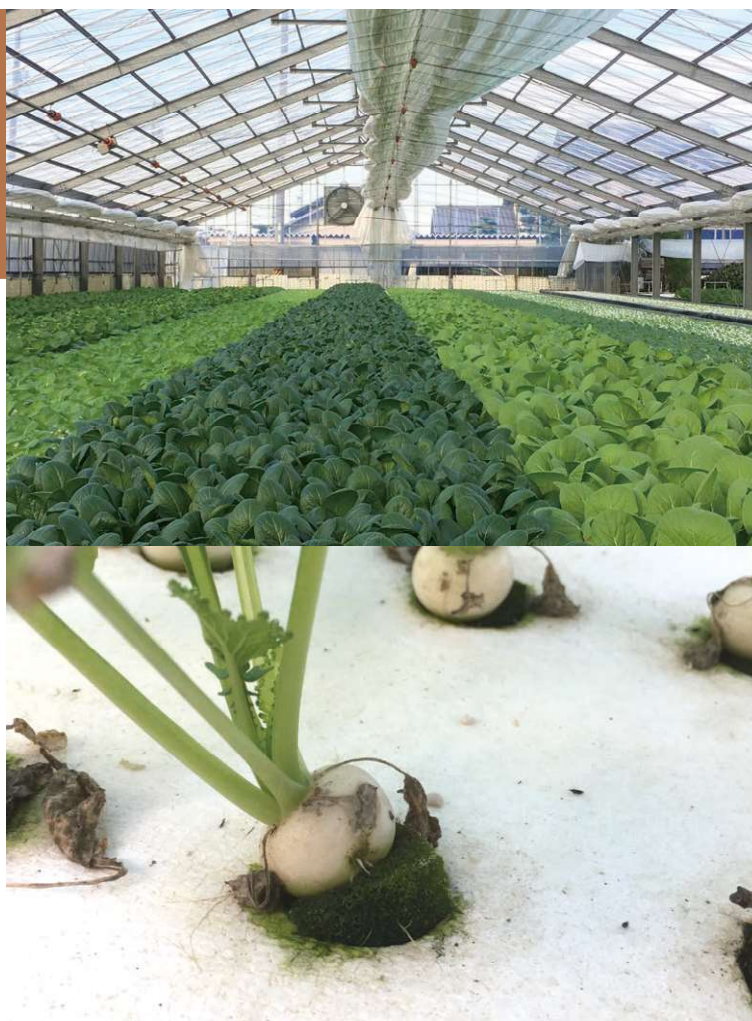
〒482-0035 岩倉市鈴井町蔵前 95-1
TEL: 090-3952-9970

■会社概要

1991（平成3）年に代表の父親が創業しました。今はビニールハウスを利用した施設野菜栽培が中心で、水耕栽培によって、ミツバや葉もの野菜などを生産しています。

そのほかにも、稲作や露地野菜栽培をしているとともに、養鶏部門としての名古屋コーチンも飼育しており、主に卵の販売もしています。

栽培の研究はもちろん、岩倉市で持続可能な農業のあり方も研究しています。



名古屋市内、某有名百貨店の野菜売り場にある「地場野菜コーナー」。そこに生産物を出品している農家が岩倉市にいます。

施設・露地野菜栽培、稲作、養鶏 循環型農業を実現する

一般的な農業では、1品目を大量に生産するのが主流ですが、ここでは1年を通して多品目を栽培・収穫できる周年栽培に取り組みしており、現在、水耕栽培で10品目程つくっています。

一番多く栽培しているのはミツバで、次に小松菜とハクサイ菜、そして葉を食べるタイプのダイコン菜やカブラ菜、加賀野菜の式部草、関西で食されることが多い大阪しる菜、他に春菊なども栽培しています。

水耕栽培の利点の一つに、土耕栽培のように土を休ませる期間が不要で、収穫後すぐに次の栽培に入れる点があります。早いサイクルで回転させることも可能なので、少量多品目の生産が実現できます。

稲作や畑での露地栽培のほかに、採卵のための名古屋コーチンも飼っています。現在70羽ほど、鶏が自由に動き回れる平飼いで飼育していますが、採れた卵は名鉄岩倉駅の改札前で開いている「野菜の広場」でのみ販売しています。「ここですか買えないものをつくりたい」という思いから取り組みました。

名古屋コーチンの飼料として、ミツバなどの野菜の残りを加えたものを与えています。

いますし、鶏糞は露地栽培の土に肥料として循環利用しており、「循環農業」を意識しています。

試行錯誤を繰り返して 想いを実現する

商品は、地元や周辺などのスーパーでも扱ってもらっています。出荷品目をもっと増やしたいと考えており、そのために、様々な野菜栽培に取り組み研究目的のハウスを建て、無理だと感じるものでも、とにかく作ってみるという挑戦を続けています。これまで、トマト、イチゴ、キュウリ、ナスなど、様々な野菜栽培システムを、作っては壊すを繰り返して研究してきました。社名の「グリーンアカデミー岩倉」にはそのような思いも込められています。

私は「地元で採れたものは地元の人に食べてもらいたい」と思っています。また、「生産から販売まで見届け、目に見える売り方をする」ということも大切にしています。そして、水耕栽培のメリットを活かし「平凡な野菜をお手頃価格でお客様にお届けする」ということを経営の目標として努力しています。

「若い人に伝えたいことは、必ず自分に合った仕事があるということ。作るのが好きなのか、作って販売するのが好きなのか。この地域であれば仕事は選び放題。好きなことをしてほしい。僕自身は『何でもつくる総合農園』をやりたいと考えて実践しています。」と語る桑山さんの目は、出荷台に並ぶ採れたて野菜のようにはみずみずしく輝いています。

岩倉の農業をつなぐ、 安全・安心・こだわりの農産物



岩倉市のカリフラワールの収穫量は全国的にみてもトップクラスです。また、大都市近郊でありながら田園風景があり、安心安全な農作物が食べられる環境は岩倉市の特徴となっています。一方、農家数や農地面積が減っているなど、厳しい状況ですが、農業は、岩倉市の産業の、また都市イメージの大事な役割を果たしています。

魅力的な女王「クイーンレッド」

専業農家で、家族3人を含めて11人の従業員がいます。栽培しているのはトマト。年間を通して3種類のトマトを栽培していますが、主力商品は大玉の魅力的な女王「クイーンレッド」(商標登録済み)です。

通常、栽培方法は苗を土に植える土耕栽培が一般的ですが、ここではビニールハウスの中で育てる施設栽培、水を利用した水耕栽培で育てています。「水耕栽培は土耕に比べて少し味が劣る」使用する井戸水は地区によってその性質が異なるため、地区ごとの水に合った生育方法を行わないといけないなどの課題もありましたが、日夜改良を重ね、おいしいトマトができるようになりました。井上町にある作業所で、毎週月・金曜日の午後販売しています。

施設は水も室温も両方とも温度コントロールをしていますが、自宅から離れた施設で温度異常が発生した場合、携帯電話に連絡が届くようになっていました。一方、施設の中には、マルハナバチと呼ばれている黒くて少し大型のハチを放ち、受粉交配をしており、収穫は一つ一つ丁寧に手作業で大切に行っています。

ここでは「ハイテク」と「アナログ」を使い分けながら、現代の農業を営んでいます。

農業 ゆうげんがいしゃ いのうえまさ ふな はし てつ ひろ
有限会社 井上政 (船橋哲広)

〒482-0032 岩倉市井上町 422
TEL : 0587-37-3680



岩倉市のブランド野菜「ちっチャイ菜」

父母の代から続く兼業農家で、ネギ、ホウレンソウ、米やちっチャイ菜などを栽培しています。

「ちっチャイ菜」はチンゲン菜と白菜を掛け合わせたもので、市の特産物づくりの一環として平成20年度から市のブランド野菜に認定されており、主に市内の「産直センター」で販売されています。市民への認知度をもっと高めたいところですが、現在生産者グループとして活動している農家が減少しつつあることが課題となっています。

これまでも、学校給食の献立に使用したり、レシピを産直センターで配布するなどPRに努めてきました。更なる認知度アップのための取組として、加工品の開発を進め、市内の飲食店や一宮市の漬物メーカーなどと連携し、「ちっチャイ菜」しょうゆ漬け」を製造し、令和5年度の市民ふれあまつりで販売を開始しました。

また地元の小学生に田植えや稲刈り体験をしてもらうことに取り組んでいます。それは以前、玄米を子どもたちに見せたところ「こんな黒いのはお米ではない。うちのお米は白い」と言った子がいたからです。岩倉市には身近に「農地」という素晴らしい教材があります。子どもたちに野菜などの食べ物を作る楽しさ・大切さ・大変さ・ありがたさも知ってもらう機会として開催しています。

農業 にわ し り う
丹羽司朗

〒482-0002 岩倉市大市場町郷廻 175
TEL : 0587-66-3000



岩倉市の農産物の代表格「カリフラワー」

田中正吾さんは主にカリフラワーとちっチャイ菜を露地栽培しています。従業員は家族4人。

カリフラワーは年2回栽培しています。7月初旬に種まきして9月から収穫し出荷を開始するパターンと、同じ畑で空いた場所から2回目の種まきして3月から収穫し出荷を開始するパターンです。7月と8月だけは出荷がない期間で、ほぼ周年栽培です。出荷は平均的には1日おきですが、4月、5月は野菜の成長が早いので毎日行っています。年間での出荷量は約8千箱になります。8〜9個を箱に入れて出荷、1箱あたり8kgぐらいです。カリフラワーといえば、白いものが一般的ですが、ここでは紫や黄色の「カラーもの」と言われるカリフラワーや、イタリア原産の黄緑色の色合いやユニークな突起のある形が魅力的な「ロマネスコ」という品種も栽培しています。いずれもあり市場には出回っていない品種です。

また、生産者グループの一員として、ちっチャイ菜を栽培して主に学校給食の献立に使用しており、漬物の開発にも携わっています。

カリフラワーやちっチャイ菜の栽培がさらに広まること、岩倉市の魅力になると考え、挑戦を続けています。

農業 た な か し ょ う ご
田中正吾

〒482-0017 岩倉市北島町 1306
TEL : 0587-37-2881

